

知恵と心と勇気を...

ファンタスティックな夢をちりばめた豪華な
ミュージカル巨編!!

博品館

ミュージカル映画フェスティバル
Musical
Mouvie's
Festival

70mm

THE WIZ

ウイズ

製作費70億円!

「オズの魔法使い」のミュージカル映画化

ダイアナ・ロス

マイケル・ジャクソン◆ニブシー・ラッセル
テッド・ロス◆リナ・ホーン
リチャード・プライアー

監督シドニー・ルメット

製作ロブ・コーエン◆脚色ジョエル・シュメツチャー
原作L・フランク・バウム
音楽作詞・作曲チャーリー・スモールズ
撮影オズワルド・モリス◆特撮アルバート・ウィットロック
美術コスチューム トニー・ウォルトン
音楽監督クインシー・ジョーンズ

●カラー作品●ユニヴァーサル映画 CIC 配給

《愛》の出発点...それはイエスに始まる!

ユダの《愛》の叫びノ
マリアの《愛》の美しさノ
12人の仲間の《愛》の笑ひノ

爆発する若いエネルギーノ新しい衝撃ノ
《愛の主題》を描いて最高最美
ミュージカル映画に新革命を起した話題作!

■「屋根の上のバイオリン弾き」「夜の大捜査線」の
ノーマン・ジュイソン製作・監督作品

テッド・ニーリー/カール・アンダーソン/イボンヌ・エリマン
原作・作詞ティム・ライス/作曲アンドリュー・ロイド・ウェバー
●カラー作品●ユニヴァーサル映画 CIC 配給

70mm

ジーザス・クライスト
スーパースター

JESUS CHRIST
SUPERSTAR



2/16(土)~29(金)

ウイズ	1:00	5:15
スーパースター (B)	11:05	3:20 7:35

入場料1,000円 (前売券800円)

銀座8丁目
博品館劇場

〒104 東京都中央区銀座8-8-11 銀座博品館8F
TEL. 03(571)1003代

THE WIZ ウイズ



竜巻にさらわれ、不思議な魔法の国へさまよいこんだ少女ドロシーは、家に帰る道を探して魔法使いオズを訪ね求める。道づれば愛犬トト。そして魔法の国で出会った三人の友だち。脳みそのないカカシ、ハートのないブリキ人間、そして、勇気のないライオン。それぞれ自分にもないものを、オズの魔法使いにさずけてもらうつもりだったのに、旅の終りに彼らは気づく。自分たちの求めるものがすべて最初から自分自身のなかにあったことを……。子供の夢そのままの「ファンタジーに満ち満ちた」この物語は、1939年「オズの魔法使い」として映画化された、当時16才でドロシーを演じたジュディ・ガーランドはアカデミー特別賞を受賞した。

彼女が歌った「オーバー・ザ・レインボー」虹の彼方には、生涯 彼女のテーマソングとなると共に、ポピュラー・ソングのクラシック・ナンバーとして、今日に歌いつがれている。その映画化から30余年を経た1975年、この物語はロックのビートルのつって、装いも新たにブロードウェイの舞台にミュージカルとして登場した。タイトルは「ザ・ウィズ」(魔法使い「The Wizard」を縮めたもの)。初日の幕開きと同時に、爆発的な人気に湧いたこのミュージカルは、ブロードウェイのロングラン記録を次々に更新した。

その待望の映画化がここに登場する華麗なミュージカルファンタジー「ウィズ」である。おなじみの主人公たちがくりひろげる不思議な旅の楽しさに加えて、今回はそれをつつみこんでいるバグゲージの豪華さ、創意の素晴らしさが何と云っても最大の話題。目と耳から、これほどせいたく観る者を楽しませてくれるミュージカル映画は、最近他に例がない。

●ダイアナ・ロス

「スーパースター」という形容が一番びつたりする女性、テイト・ロイト生まれ。ティーンエイジャーの時に女性3人のグループ、プリメットを結成し、学校や教会から出発し、レコード界に進出、名前をシュプリームズとしてから世界的に有名になったが、1969年に独立し、ソロ・シンガーとして、テレビに、舞台上に、映画に、と活躍。

映画第一作「ベリリー・ホリデイ物語」で、アカデミー主演女優賞の候補になったり、第二作目の「マホガニー物語」では、主演女優兼デザイナーとしての腕も認められた多才な女性。このスーパースターマンにまつての一番の関心事は、レコードの売上げでも、映画の出来でもなく、3人の娘たちの幸福だというのが、「ウィズ」の中で、探し求めているものは、自分の中にあると気が付く女主人公ドロシーは、ダイアナ自身の姿であるといえよう。

●監督 シドニー・ルメット

1924年6月25日フィラデルフィアで生まれたが、4年後、ブルックリンにあるラジオ局用に放送脚本を書き始めた父と共にニューヨークに移り住んで以来、ニューヨークを愛している当代一流の監督。「狼たちの午後」「セルビコ」「シモン・コネリ」盗聴作戦「グルーブ」等ニューヨークを舞台にした数々の映画のあとで、20年の監督生活中、25本目の作品であると同時に、ミュージカル第一作目である「ウィズ」の舞台をニューヨークにしたほど。

4才の時に、父の作品で初舞台を踏み、1950年に、テレビの監督助手になるまで、役者として、舞台上に数多く出演、映画にも出演したこともあるという。

テレビから、映画へと移っていった監督であり、映画第一作は、名画の一つといわれている「十二人の怒れる男」であった。それ以後、前述した作品以外にも、「女優志願」「蛇皮の服を着た男」「橋からの眺め」「丘」「質屋」「約束」等の問題作をつくつて

役者としての経験をいかした役者扱いのうまさ、映画づくりのうまさ、彼の身上であり、「ウィズ」でも、その才能があまるところなく発揮されている。

JESUS CHRIST
SUPERSTAR



ジーザス・クライスト スーパースター



この映画の原形は一九七〇年、イギリスの2人の若者ティム・ライス(作詞) アンドリュー・ロイド・ウェバー(作曲)が、コンサート用に書いた斬新で現代感覚にあふれた作品であり、世界各国で最大の反響を呼んだ舞台劇である。

イエス・キリストの最後の7日間を描きながら、現代の若者たちに相通する愛と苦悩のこのドラマを、映画づくりの常識をはるかに超越して見事に映像化したのは「夜の大捜査線」屋根の上のバイオリン弾き」の俊英ノーマン・ジュイソンである。

主役の3人や出演者のほとんどがブロードウェイをはじめ、各地のコンサートで活躍してきただけに、一分のスキもない歌や踊りを見せてくれる。

演奏はアンドレ・プレヴィン指揮のロンドン・フィルハーモニー交響楽団。

●テッド・ニーリー

1943年テキサス生まれ。8才の時にロック・グループを結成。高卒後メンバー全員、オデッサ大学へ進んだが一年後に退学。中西部と西海岸を演奏して回った。ベガスで結構人気を集めて一度レコードを出したが、これは売れなかった。徴兵でコンバートが欠落すると彼は単独で「ヘアー」に出演。2年間続いた「JCS」スーパースター」の72年ロス公演で主役に抜擢された。ジュイソン監督のスクリーン・テストでは3千人の競争相手から金的を射とめている。

●監督 ノーマン・ジュイソン

1926年7月カナダ、トロント生まれ。父親は雑貨屋。高卒後、給仕や運転手をしながらトロント大学を卒業。四〇ドルの貯金をもって渡米。俳優兼シナリオライターとしてBBCに勤務。その後カナダに帰国。TVの急成長をみてカナダのTV会社で演出を担当。アメリカCBSに引き抜かれた。1962年ユニヴァーサル映画に監督として招かれ、「40ポンドのトラブル」でデビュー。「シンシナティ・キッド」で売り出し、67年「夜の捜査線」でアカデミー作品賞、製作も兼ねた「屋根の上のバイオリン弾き」では三つのアカデミー賞と多くの国際映画賞を受賞。

私生活は元モデルのマーガレット夫人との間に、7才を頭に「二男一女があり、現在ロンドンに住む。ユニヴァーサルの為に年一本の作品を製作監督し、彼が設立したアルゴキン・フィルムの為に年間一、二本の作品を予定している。